



# 2024年10月期 株主・個人投資家向け説明資料

証券コード：3653（東証グロース）  
2025年2月25日



# INDEX

1. 会社概要
2. Vision2024振り返り
3. 新中期経営計画 Vision2027
4. 株主様からのご質問への回答

# 1. 会社概要

# Vision

**Rise above what we see, to realize what we feel**

**-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-**

モルフォは、イメージング・テクノロジーの研究開発型企業として、2004年にスタートしました。コンピューターサイエンスは実学であるという信念に基づき、最先端の研究を理論で終わらせるのではなく、社会のニーズに適応させ、世の中に生かしていくことこそが私たちの使命であると考えています。これまでに培ってきた画像処理技術と最先端の人工知能（AI）／ディープラーニングを融合した「イメージングAI」で社会の様々な分野とお客様に貢献していきます。

私たちの基本姿勢は、オープンイノベーション。お客様とステークホルダーと連携し、研究開発の成果を、実社会の課題解決への応用を通じて、世界をもっと豊かにするために役立ちます。モルフォは、これからも、革新的なイメージング・テクノロジーを創造する集団として、「イメージングAI」の可能性に挑み続けます。

創業  
**2004**年

東証マザーズ上場  
(現グロース市場)  
**2011**年

グループ社員  
**162**人

海外拠点  
**5**カ国

特許  
**140**

海外売上比率  
**60.7**%

連結売上高  
**33**億円

研究開発費率  
(売上高比)  
**11.4**%

※2024年10月期



# GLOBAL NETWORK

モルフォのグローバルネットワーク



## Top Data Science Ltd.

所在地 Kuortaneenkatu 2,  
FI-00510 Helsinki, Finland  
資本金 €2,500

## Morpho Korea, Inc.

所在地 20F, 83, Uisadang-daero,  
Yeongdeungpo-gu, Seoul 07325  
資本金 ₩ 100 million

## Morpho US, Inc.

所在地 333 West San Carlos Suite 600  
San Jose, CA 95110  
資本金 \$ 650,000

## Morpho China, Inc.

所在地 Benyuan BLDG, 6B, No.6015  
Shennan Ave, Futian District,  
ShenZhen, Guangdong  
資本金 150,000,000JPY

## Morpho Taiwan, Inc.

所在地 10F., No.150, Sec. 2,  
Nanjing E. Rd., Zhongshan Dist.,  
Taipei City 104, Taiwan (R.O.C.)  
資本金 14,000,000NTD

## 株式会社モルフォ AIソリューションズ

所在地 東京都千代田区神田錦町 2-2-1  
KANDA SQUARE 10階  
資本金 100,000 千円

## 株式会社モルフォ

所在地 東京都千代田区神田錦町 2-2-1  
KANDA SQUARE11階 WeWork内  
資本金 1,858,943千円

## ソフトウェア・ライセンス事業により収益の積み上げを実現

### ロイヤリティ収入

- 各メーカーへ当社グループのソフトウェア製品を提供
- 各メーカー製品の出荷台数/期間に応じたライセンス料收受

### 開発収入

- 新製品・サービス開発時に、各メーカーからモルフォが開発を請負
- 一定の条件を満たせば当社グループ単独でライセンス展開

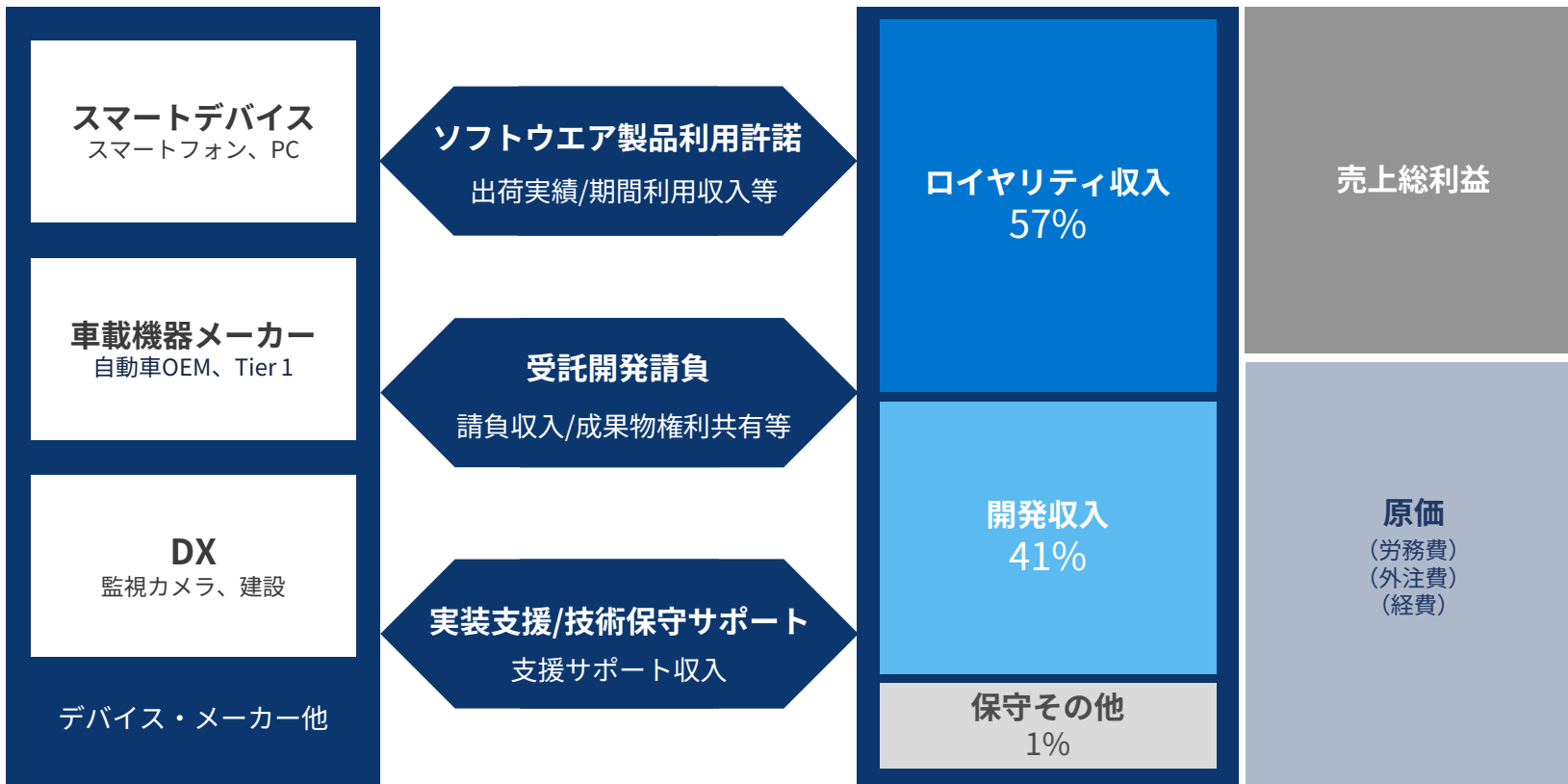
### その他

- 各メーカーへ当社製品の実装支援を実施する開発サポート収入
- 各メーカーへ製品利用許諾後に技術的サポートを実施する保守サポート収入

# 収益構造

【クライアント】

【モルフォ】



※%は、2024年10月期 連結売上構成比

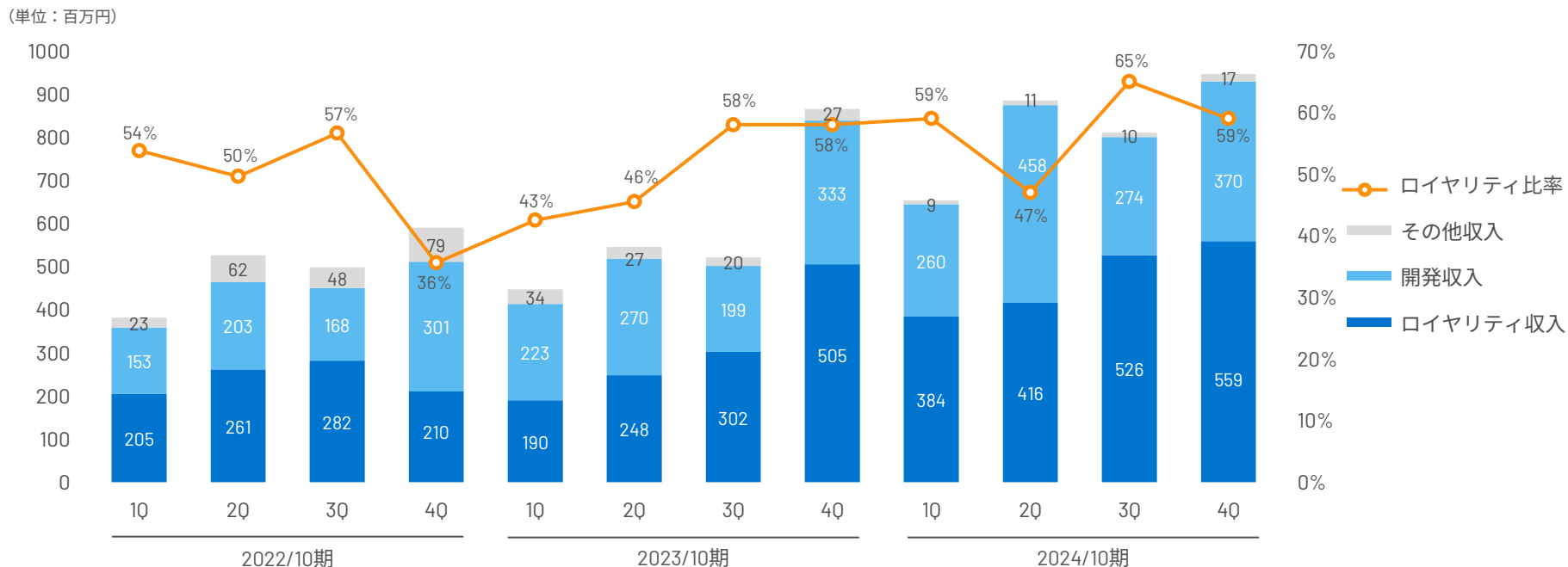


# 売上収益構成（直近3か年）



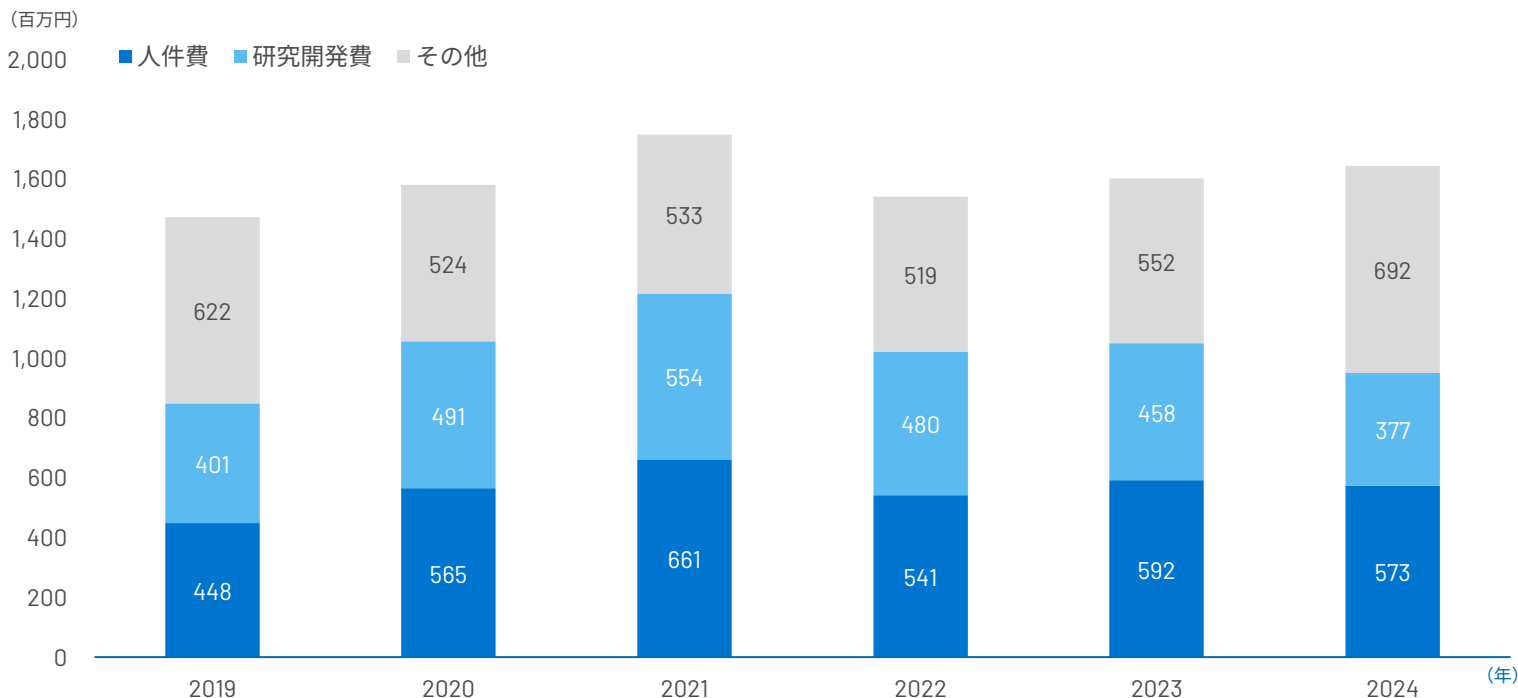
ロイヤリティ収入：スマートフォン・PC向けのロイヤリティ

開発収入：車載・DX向け研究開発支援、量産向け開発支援



## 販管費推移 (連結)

2024年10月期販管費は売上高の増加に伴い販管費比率▲17.4%減。研究開発費は、従前より進捗していた研究テーマの製品化に伴い一時的に減少した結果、売上高販管費比率▲7.8%減



## 2. 前中計 (Vision2024) 振返り

## 連結

### 2021年度⇒2024年度（中計最終年度比較）

収益率の改善とコストの適切なコントロールにより、  
中計最終年度で5期振りの営業利益黒字転換

**売上高：1,730百万円⇒3,300百万円**

**営業利益：▲881百万円⇒257百万円**

## 事業戦略

## 達成状況

### SMART DEVICES スマートデバイス

#### 選択と集中による効率的な売上・利益最大化

競争優位の商品を重点的に強化・顧客ニーズを即時把握し高確度の商談へ集中

#### 主要スマートフォン・PCチップセットメーカーとの関係強化

未公開技術情報へのアクセス・ソリューション最適化・共同マーケティング

#### 戦略的パートナーシップを通じた事業拡大

商品ラインナップ強化・開発リソースの最適化による効率化・新規顧客開拓

- ・中国拠点を中心に選択と集中により売上拡大、また販売力強化し顧客ニーズを即時把握・本社と連携し重点開発。
- ・スマートフォン・PCチップセットメーカーとの関係強化。パートナー活用も功を奏し、PC OEMでの採用も進捗。

	事業戦略	達成状況
<b>AUTOMOTIVE</b> 車載モビリティ	<b>既存顧客との連携継続・強化</b> 共同研究開発を継続・拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・大手センサーメーカーとのアライアンス推進</li><li>・既存顧客との連携は順調に進捗。新規顧客の案件が拡大中</li></ul>
	<b>自社商品によるロイヤリティビジネス事業化</b> 独自商品開発および車載SoCメーカーとのパートナー連携	
	<b>戦略的提携によるビジネス創出</b> 資本業務提携締結等を活用した、既存ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進	

## 事業戦略

## 達成状況

<b>DX</b> デジタル・ トランスフォーメーション	<b>AI-OCR技術を用いたビジネス拡大</b> 文書系OCRを起点に、デジタルアーカイブ、BPOビジネスへ展開	<ul style="list-style-type: none"><li>画像処理技術によるDXで建設現場プロセスを効率化</li><li>NDLOCRを活用した市販ソフト「FROG AI-OCR」の提供。自治体、大学、図書館、BPO企業での利用拡大</li></ul>
	<b>監視カメラ画像解析AIで安心安全なまちづくりに貢献</b> AIカメラによるバリアフリーの実現、駅の安全管理、リモートでのメンテナンス業務の効率化	

### 3. 新中期経営計画 Vision2027

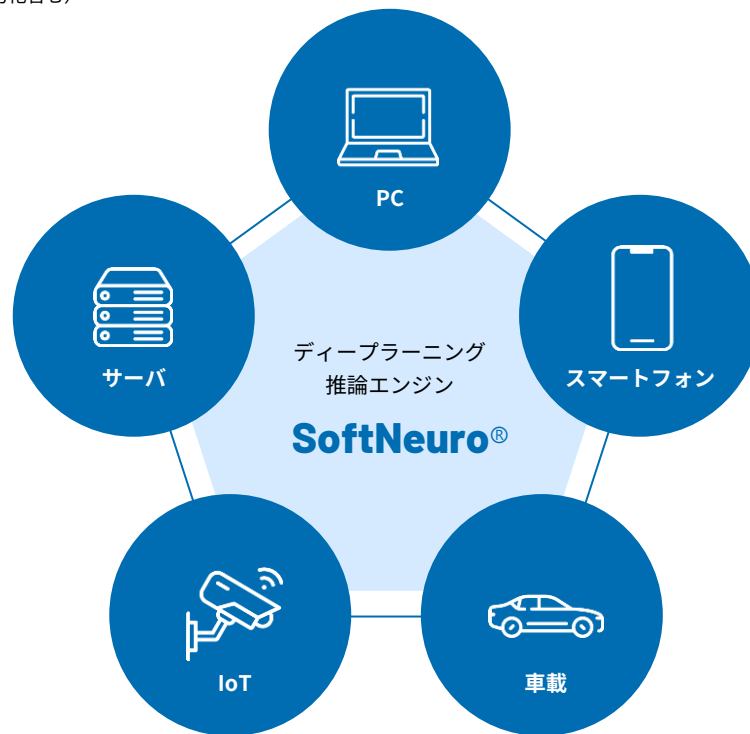


さまざまな組み込み先への対応力 (SoCのアクセラレーター活用による低消費電力化含む)

## モルフォ研究開発エンジニアの強み

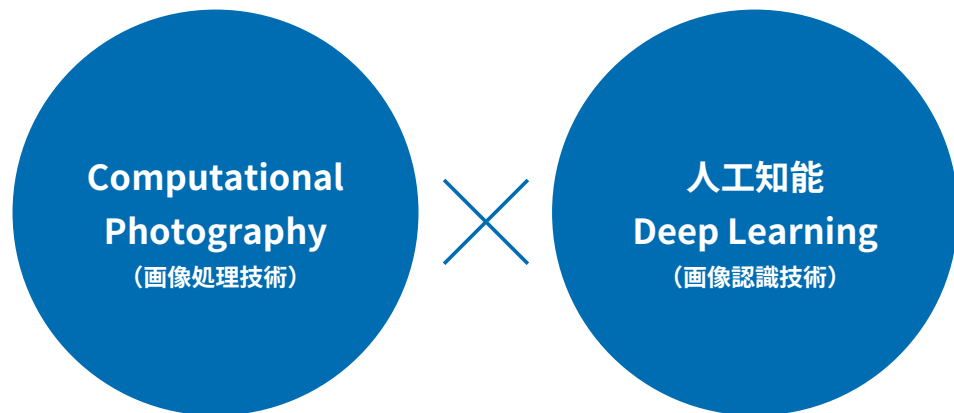
強固な開発チーム連携体制により、他社ではできない  
「短期間での開発」「ソリューション提供力」

大手企業R&Dや国立機関から信頼・委託される  
研究開発力 (CVPR、ICML国際学会へ参加)



CP×DL※による精度向上

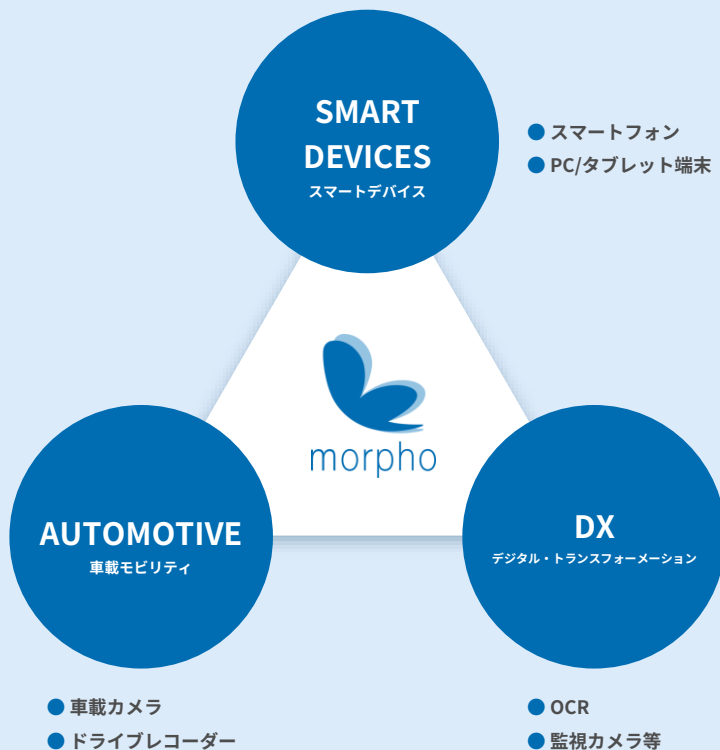
AIの精度向上に画像処理を利用



## お客様から見たモルフォの価値

- 最新のAI技術ノウハウ・アルゴリズム提供
- 新規ソースコード受託開発からHW最適化まで提供
- 保有アルゴリズムを短期間でカスタマイズ提供
- 画像処理も用いることで高い精度を実現

先進のイメージング・テクノロジーにより、  
利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する

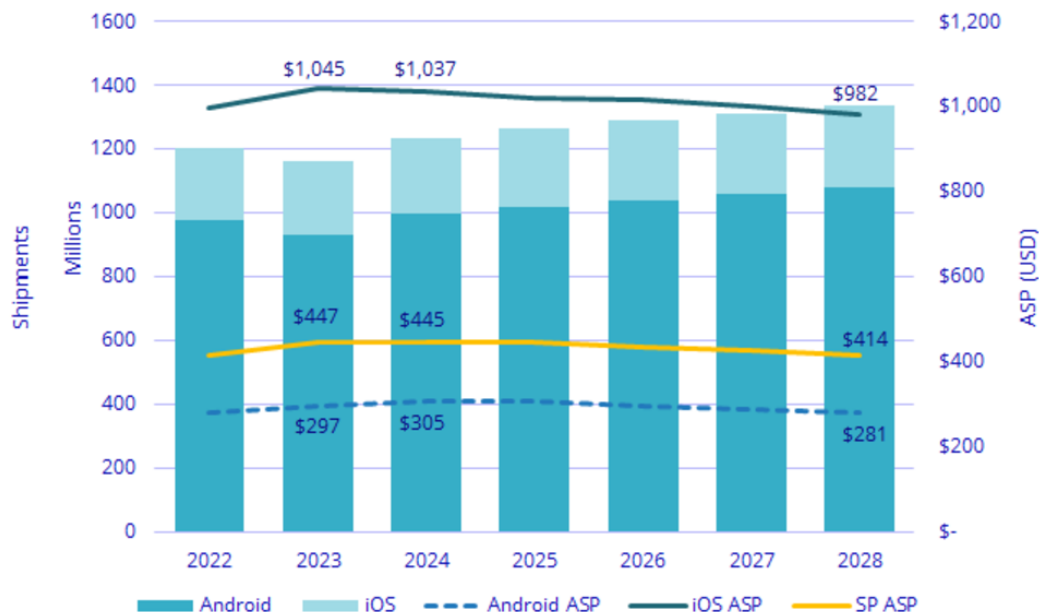


# 市場環境 (SMART DEVICE)



2024年の出荷台数は前年比ベースで増加し、2028年に向けて堅調に増加を見込む

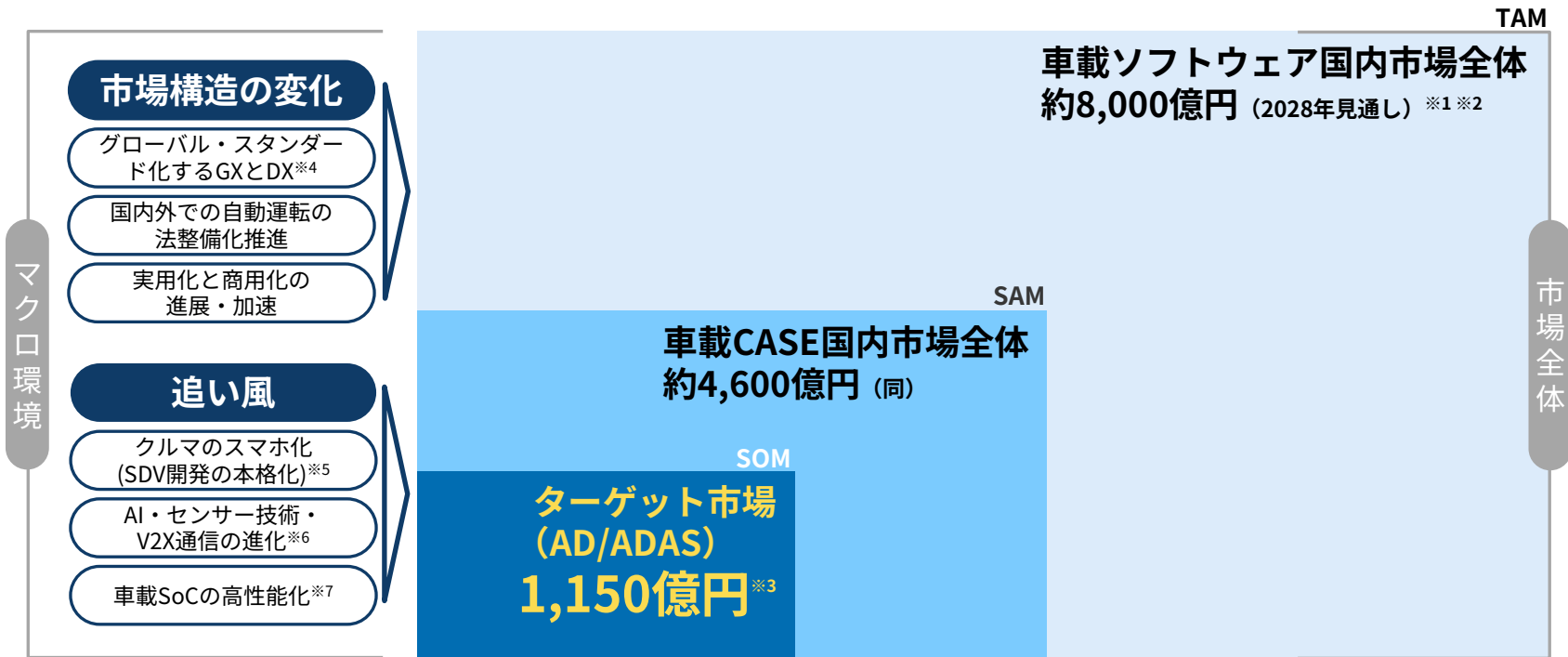
## 世界スマートフォン出荷台数



出典: IDC Worldwide Smartphone Forecast, 2024Q2

新興市場では、手頃な価格のAndroidスマートフォンが急速に成長しており、プレミアム市場では、AIスマートフォンが成長しており市場全体としては2028年に向けて増加傾向にある。

モルフォのコアコンピタンスである“イメージングAI”で車載業界の課題解決を目指し、市場でのプレゼンスを高める



※1 出所：矢野経済研究所「車載用ソフトウェア（自動車会社、自動車部品サプライヤー等）市場に関する調査（2024年10月9日）」  
※2 海外含めると3～4倍規模を予測（当社調べ・推定）  
※3 SAM×1/4（CASE概念領域の1/4が当社対象市場を推定）

※4 GX：Green Transformation（カーボンニュートラルと経済成長の両立を目指す取り組み）  
※5 SDV：Software-Defined Vehicle（自動車を制御するソフトウェアの更新によって製造・販売後も継続的に進化する自動車をいう）  
※6 V2X通信：Vehicle-to-Everything（通信で自動車と様々なものを繋げて連携を行う技術）  
※7 SoC：System on a Chip（全体システムを一つのチップにまとめる技術集約型の半導体）

# 市場環境 (DX)

モルフォのコアコンピタンスである“イメージングAI”で建設業界の課題解決を目指し、市場でのプレゼンスを高める



※1 出所：富士経済グループ「業種別IT投資/デジタルソリューション市場2024年版」（不動産業は除く）  
※2 試算ロジック：1顧客あたり1億円以上の売上高×アプローチ可能な建設業界上場企業166社以上にて試算

## 成長戦略 (SMART DEVICES)

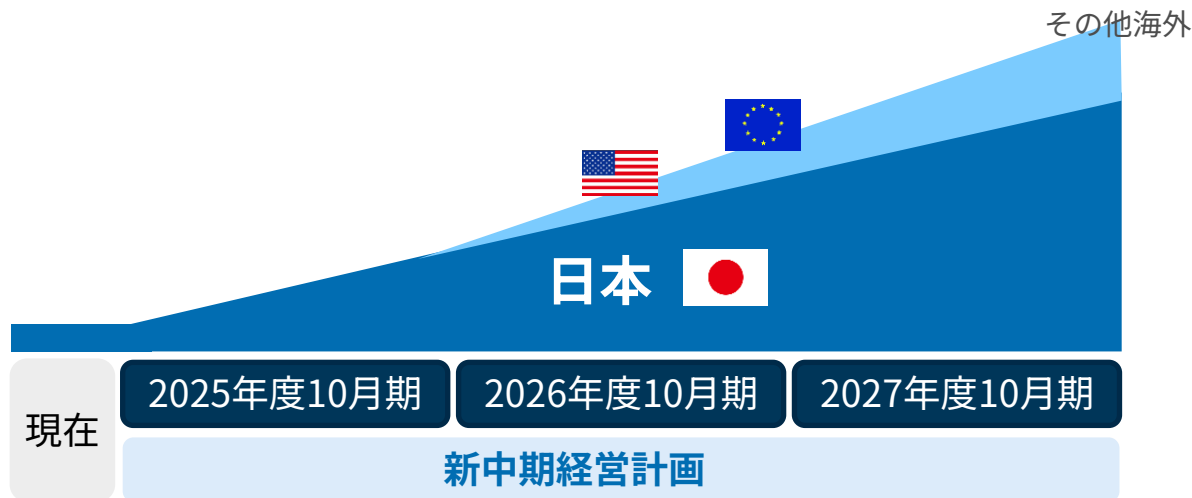
スマートフォンを中心に中国向けが中心となるトレンドに当面変化はないものの、  
その他海外についてもPC、タブレット端末についても新中期経営計画期間で開拓する



## 成長戦略 (AUTOMOTIVE)



引き続き、日本国内の大手OEMやTier1との取引を拡大させライセンスビジネスを展開する。  
また国内での実績をもとに、新中期経営計画期間に海外のOEMやTier1へアプローチする





## 成長戦略 (DX)

国内の建設系のDXを拡大していく。その他海外については新中計経営計画期間に工場におけるAIを活用した生産性向上や安全性確保など、新規事業拡大に取り組む



本中期経営計画で「Growth & Profitability」-収益力の向上と企業価値の最大化を目指す！

## 収益性

選択と集中により、  
収益性の高い事業に注力



過去最高の売上及び利益を目指す

- ロイヤリティ比率の向上で収益性UP
- 開発収入の生産性向上

## 企業価値

コア技術を活かした新領域への  
取り組み



コア技術を活かしたプロダクトアウトを  
目標とした新組織立ち上げ

- 未来創造室の立上げ

## 収益性向上

### ■ 施策

- ライセンス比率の向上
- 開発収益の生産性向上

### ライセンス比率向上



- スマートデバイスに留まらず他の事業領域でライセンスビジネスの確立
- プロダクトの継続改善による競争力強化
- 契約形態を長期に転換

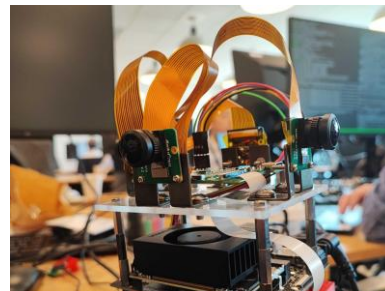
### 開発収益の生産性向上



- 人的投資を積極化し、従業員の付加価値創造を高める
- ナレッジの蓄積と活用に取り組む
- 顧客とのリレーション強化による継続的な開発収入の獲得

### 未来創造室のMissionと新しいプロダクトの創出

- テクノロジー主導型のプロダクト開発と顧客視点の事業創造
- ソフトウェアに留まらずハードウェアやサービスと連携した事業創造
- 未来に対しイノベーションを起こし続ける



# SMART DEVICE | スマートデバイス

## スマートデバイスの進化を、イメージングAIでリードする

モルフォは、携帯電話のカメラ性能を飛躍的に向上させる画像処理ソフトウェアの研究開発型企業としてスタートしました。

その後、モルフォの画像処理ソフトウェアはスマートフォンに搭載され、2024年7月末時点で累計40億超のライセンス数を突破。

海外市場を中心に有力メーカーの製品力向上に貢献しています。

これからも、画像処理技術とディープラーニングが融合したイメージングAIで、

スマートフォンのみならずPC、タブレット、ウェアラブルカメラなど、多様なスマートデバイスのさらなる進化をリードしていきます。

## ■ 事業戦略

01

### 選択と集中による効率的な売上・利益最大化

競争優位の商品を重点的に強化・顧客ニーズを即時把握し高確度の商談へ集中

02

### 戦略的パートナーシップを通じた事業拡大

商品ラインナップ強化・開発リソースの最適化による効率化・新規顧客開拓

## 技術紹介



### Morpho Raw Image Refiner

#### 静止画向けトータルソリューション

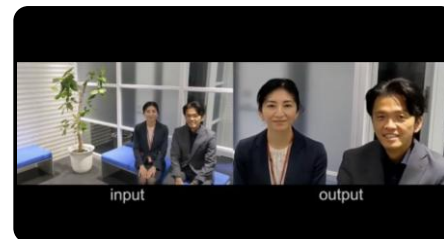
「Morpho Raw Image Refiner」は手ブレ補正からノイズ削減、トーンマッピングまで、モルフォの全画像処理アルゴリズムをRawドメインで再構築し、リ・イノベーションした最先端の静止画向けトータルソリューションです。



### MovieSolid®

#### 動画向け電子式手ブレ補正技術

「MovieSolid」は、IMUセンサもしくは動き検出技術「SOFTGYRO®」を活用した、動画向けの電子式手ブレ補正技術です。水平維持や高速再生、自動画角調整機能など最先端のニーズにも対応しています。



### Morpho Auto Framing

#### 動画向け表示領域最適化技術

「Morpho Auto Framing」は、映像中の指定した対象物に対し自動的にズームし表示領域を最適化する技術。低CPU負荷かつ低消費電力で、長時間のビデオ会議に最適なソリューションです。



## 活用事例

### CASE1 スマートフォン世界トップメーカーへ技術提供

動画手ブレ補正技術「MovieSolid」は中国のトップスマホメーカー3社に搭載されており、「Morpho Raw Image Refiner」についても採用に向けた取り組みを加速しております。そのほか、中国の上位10社の全てのスマホメーカーに対して、パノラマ生成技術「Morpho Panorama」やノイズ除去技術「Morpho Raw Deep Denoiser」などの製品を提供しております。

### CASE2 PCトップメーカーに認められた技術力

多様な働き方の普及に伴い、PCを利用したビデオ会議に対するユーザーのニーズが高まりました。モルフォの高画質・高性能・低消費電力という画像処理技術はPC業界でも最適な選択肢となっています。モルフォは、Intelに最初に認定されたISV(Independent Software Vendor)の一社であり、ビデオ会議向けに開発された画像処理ソリューションは、世界トップクラスのPC OEMに採用されています。

**AUTOMOTIVE**

車載・モビリティ

## 自動車向け最先端AIソフトウェアソリューションを世の中へ提供

多くの自動車OEM/Tier1がより安心・安全な自動運転(AD)/自動運転支援技術(ADAS)の開発を日々強化しています。モルフォは2015年からのデンソーとの共同研究開発を皮切りに、車載分野に注力しており、多数の自動車OEM/Tier1との取引を拡大中です。車室外カメラ向けに加えて、車室内カメラ、テレマティクスの3分野を中心に、AIソフトウェアソリューションを提供し、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

## I 事業戦略

01

**自動車OEM/Tier1各社とのビジネス拡大**

先行技術開発をOEM/Tier1各社へ直接ご提供する体制を整備

02

**最先端技術を標準AI製品として顧客別に提案**

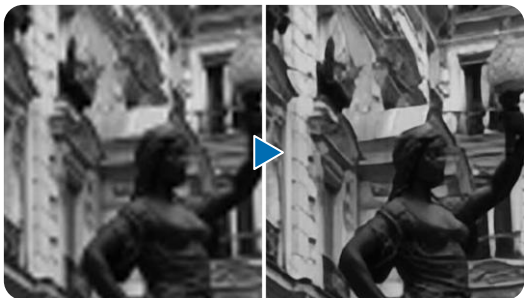
最先端のAI技術を、モルフォの標準製品としてラインナップ。  
顧客に合わせてカスタマイズし、スピーディーに提供

03

**パートナー企業との戦略的提携によるビジネス創出**

パートナー企業との共同研究開発やビジネス開発を通じた新規ビジネス協創を推進

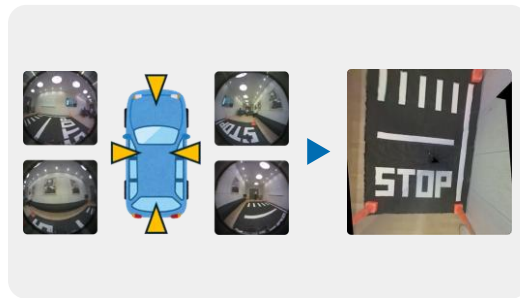
## 技術紹介



Morpho Deep Deblur™

### AI画像鮮鋭化技術

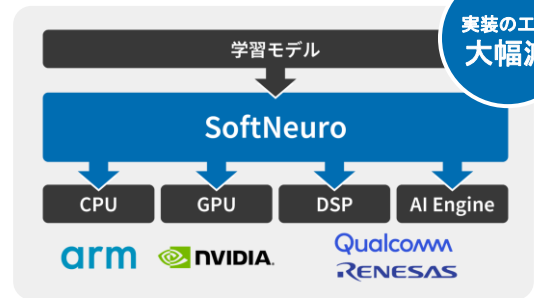
画像のブラー（ブレ、ボケ）を除去し、鮮鋭化するAI技術です。近年、高解像度化が進む車載モニタ（HMI）に対して、低解像カメラ映像をAIで画質改善し、美しく表示することを可能とします。



Morpho Visual Calibrator™

### オートキャリブレーション技術

車載カメラ同士の位置関係を画像情報より推定する、AIを用いたキャリブレーション技術です。一般的に、自動車製造時において、車載カメラの個体差を吸収するため、マーカーを利用したカメラキャリブレーションが行われます。近年、この設備費用がカメラやセンサー数の増加に伴い膨大になるという課題があります。本製品はこうした専用設備を低減するための、オートキャリブレーション技術を提供します。



SoftNeuro®

### ディープラーニング推論エンジン

マルチプラットフォームに対応した世界最速級のディープラーニング推論エンジンです。実行時に、モルフォ保有の特許技術を利用して推論処理の最適化を行うことで、各種車載SoC上で高速・高精度な推論を実現します。

## 活用事例

### CASE1 大手自動車Tier1と共同研究開発

大手自動車Tier1とモルフォは、2022年から共同研究開発を開始。両社のR&Dエンジニアが一体となり、最先端のAI技術の研究開発・社会実装に取り組んでいます。

### CASE2 大手自動車OEMとの先行開発

過去の研究開発・先行開発の実績を活かし、大手自動車OEMとの先行開発を複数進行中です。AD/ADAS分野に限らず、車室内モニタ（HMI）用途や車体制御用途など、幅広い技術開発に携わり、自動車OEMの最先端AI技術開発に貢献しています。

**DX** | デジタル・トランスフォーメーション

## データ駆動で企業のビジネス変革と事業成長を支援する

私たちはこれまで画像解析の技術を起点に、モノのデータ化からデータベースの構築、そして活用までを、

一貫したデータ解析ソリューションとして様々な業界向けに提供してまいりました。

利用事例はインフラメンテナンスのAI化やバックオフィスの業務効率化、建設現場におけるAI/画像処理技術によるDXを活用した業務プロセスの改善等多岐に渡ります。

既存ビジネスの業務改革によるオペレーション高度化から、事業構造変革による新たな収益基盤の創出に至るまで、最先端のデータ解析テクノロジーを駆使する伴走パートナーとして、これからもお客様の成長と発展に貢献してまいります。



## I 事業戦略

01

**AI-OCRを起点としたソリューション拡張**

文章系の更なる強化、様々な表フォーマットのCSV変換、そして自然言語処理へと発展

02

**AIカメラを起点としたソリューション拡張**

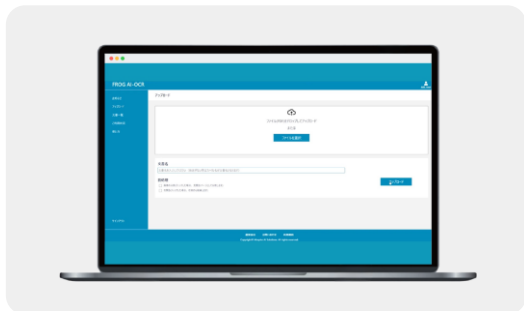
安全管理から業務効率化まで、工場や倉庫、発電所、医療、交通など各現場の利用に適した機能を順次拡張

03

**企業の個別課題を起点としたDX支援領域の拡張**

画像に加え点群などのセンサーデータを活用強化、様々なデータを複合的に取り扱うことでより難易度の高い問題へ対応

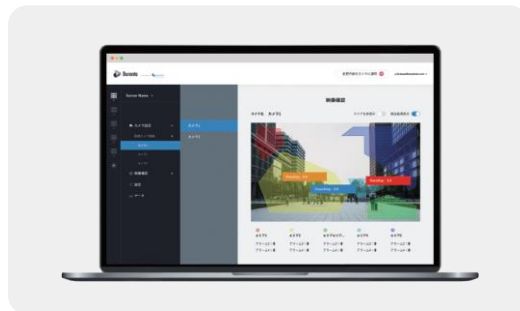
## 技術紹介



### FROG AI OCR

#### 独自のレイアウト認識で あらゆる非定型フォーマットに対応

縦書き横書きの混在文章に対応、英字記号など様々な文字種に対応、多段組に対応、文章&帳票に対応、明治大正の旧字旧仮名に対応、レイアウト認識機能を搭載、読み順推定機能を搭載、表解析機能を搭載、透明テキスト付PDF作成機能を搭載。



### Duranta

#### AIカメラでエッジAI処理

i-PRO社のAI基盤が搭載されたカメラで様々なAIモデルを動かすシステムを展開、カメラ単体で転倒検知や侵入検知、アラーム発報まで完結します。またエッジ構成以外では、オンプレサーバーverやクラウドサーバーverを展開しており、ほとんどのカメラメーカーに対応、検知事象のカスタマイズも可能。



### Digital Twin System

#### デジタルツインシステムで遠隔点検

画像データと点群データを用いてリアルな現地の状況をデジタル上に3Dモデル展開。高解像度の画質をビューアーシステム上に保持することで、現地に赴かなければわからなかったような細かな損傷の点検まで遠隔でオンライン上から行うことが可能になります。

## 活用事例

### CASE1 大手製造メーカーの業務安全管理にAIカメラを活用

工場内では一人で作業を行うケースが多く発生し、スタッフの体調不良時に発見の遅れから事故の発生に繋がる  
ことが課題視されています。本ケースでは工場内で問題が発生し得る対象スペースに、転倒検知AIシステムが搭載  
されたセキュリティカメラを導入し、転倒やうずくまりの姿勢をアラーム対象として、問題事象が発生した際  
には管理スタッフに通知がいくようにすることで、工場内の安全管理が保たれています。

### CASE2 建設業界向けにカメラによる高精度3次元点群生成技術を紹介

高精度なキャリブレーション手法と最新のAIベースの技術を組み合わせ、既存手法よりも高精度な3次元再構成  
を実現する手法で研究開発を実施。

## 4. 株主様からのご質問への回答

会社成長のシナリオは、どのように考えているのか。  
長期ビジョンを踏まえて教えてほしい。

外部環境に関する認識とその影響について、  
どのように考えているのか。  
為替変動、トランプ政権、カントリーリスクなど。

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社との  
業務資本提携の狙いを教えてほしい。

株価への意識について。  
目標株価、株価対策などを教えてほしい。



